

令和7年度 後期 学校評価

鬼北町立日吉中学校

【評価基準】 A：評価点3.2（80％）以上 B：評価点2.8（70％）以上 C：評価点2.4（60％）以上 D：評価点2.4（60％）未満

重点目標	評価指標				評価点	評価	評価	○成果　●課題及び改善策
確かな学力	1	① I C T機器を効果的に活用し、分かる授業を実践している。	教師	「わかった」「できた」を一人一人が実感できる授業に努めている。	3.71	A	B	○前時の学習内容を振り返ることができる質問をしたり、生徒同士で確認する時間をとったりしている。 ○教師だけでなく、生徒も授業内容を理解できていると回答できていたのは、よかった。授業で教えた内容が伝わっている。 ●定期テストが廃止され、学習の成果を保護者の方が見る機会が少なくなったと思う。 ●単元テストなどのテストの結果をきちんと保護者に確認してもらうようにする。
			保護者	お子さんは、授業内容を理解している。	2.67	C		
			生徒	授業内容をよく理解している。	3.20	A		
	2	②基礎・基本を定着させ、学びに向かう力を育てている。	教師	家庭学習の指導や内容を工夫し、主体的な学びにつなげている。	3.29	A	B	○学んだことを生かして表現するような宿題を出している。 ●課題と自主学習の違いが分かりづらいこと。 ●宿題以外の学習にはなかなか取り組めていないのが現状。家庭学習充実Weekを今年度からスタートして、以前よりも学習量が増えた生徒もいると思うが、保護者の目に触れていないかもしれない。 ●学活や道徳等で、勉強すること、努力することの大切さを教えたい。
			保護者	お子さんは、宿題以外の家庭学習に取り組んでいる。	2.44	C		
			生徒	学び方を理解し、宿題以外の家庭学習に取り組んでいる。	2.90	B		
	3	③じっくり考えて判断し、表現する力を育てている。	教師	教科学習や郷土学を充実し、思考力・判断力・表現力を育てている。	3.86	A	A	○一人一研究で、それぞれの研究内容について意欲的に調べたり、実践したりすることができた。 ●国語科の授業では、全体的に書く力はあると感じる。「じっくり」となると、あまりできていないと考えてしまうのかもしれない。書く力よりも、話す力の方が弱いのではないかと考える。 ●あゆみの文量を増やすよう呼び掛けたり、朝の会や終わりの会でスピーチの時間（新聞紹介とは別に）を設ける。
			保護者	郷土学等によりお子さんの考える力や表現力が育ってきている。	3.44	A		
			生徒	じっくり考え、伝えたいことを的確に書いたり話したりできる。	3.00	B		
評価委員会 学校関係者 意見	○定期テストが廃止されたことで、メリットがあることはよい。学習の成果や評価の仕方など、保護者に確認、説明をしてほしい。 ○定期テストの廃止が、教職員の負担軽減で終わることなく、余力で生徒の学力向上につながることを願っている。 ○①、②の評価で、保護者の「C」が気になります。教師・生徒は「A」なので、保護者はあまり手ごたえを感じていないのかもしれませんが。定期テスト廃止による不安も表れているのかもしれない。 ○テストがなくなって、学習の成果など保護者が見る機会が少なく、不足に感じている保護者もいるようだ。 ○学習能力に個人差があるように、自主学習には顕著にその差が現れる。家庭環境によって大きく学習の実態が異なるわけで、子ども自身にやる気を持たせられるような導きを望みます。					学校の対応	○単元テストの結果など学習の成果をファイルにきちんと綴り、その都度保護者に確認してもらうようにする。 ○少人数の利点を生かして、生徒が意見を言ったり、感想を書いたりする際に、適切な表現や言語化のサポートなど、個に応じた指導を行う。 ○ふだんから、書く、話す活動を意識して指導する。	

重点目標	評価指標				評価点	評価	評価	○成果　●課題及び改善策
豊かな心	4	④地域の文化や自然を学校教育に生かしている。	教師	地域のよさを生かした教育活動に努め、豊かな心を育てている。	4.00	A	A	○地域の温かさに支えられて、一人一研究や部活動、奉仕作業等が行えていると思う。 ○郷土学や、一人一研究などで地域の方と関わる機会が多い。教員だけでなく、生徒や保護者も地域との関わりを感じることができている。
			保護者	地域のよさが学校教育に生かされ、豊かな心が育っている。	3.44	A		
			生徒	進んで、地域の文化や自然、人々との交流に取り組んでいる。	3.20	A		
	5	⑤将来への展望を持つよう学校生活の充実に努めている。	教師	キャリア学習を進め、充実した学校生活が送れるようにしている。	3.57	A	A	○学活で職業カードを使って仕事を知ったり、調べ学習をしたりしている。 ●進路希望調査を見ると、将来の夢がある生徒は少ない。 ●生徒の興味があることをアンケートや日頃の日常会話から聞き出し、それらに関する職業を個別（教育相談）、もしくは全体で紹介する。
			保護者	お子さんは、将来に夢をもち、学校生活を楽しく送っている。	3.33	A		
			生徒	将来に夢をもち、学校生活を楽しく送っている。	3.10	B		
	6	⑥挨拶や時と場に応じた言動が身に付くようにしている。	教師	挨拶や時と場に応じた適切な言動ができるよう指導している。	3.71	A	A	○日吉中学校の生徒は、挨拶がよくできている。 ○目上の人に対する丁寧な言葉遣いを大人から模範を示したい。 ●教員に対して不適切な言葉遣いをしていることも見かけるので、そこは適宜注意しなければならない。
			保護者	お子さんは、挨拶や時と場に応じた適切な言動ができる。	3.11	B		
			生徒	気持ちのよい挨拶や時と場に応じた適切な言葉遣いができる。	3.30	A		
評価者 学校関係者 委員意見	○日吉中学校を愛し、そこに学ぶ子供たちを愛していただける教育であることを望みます。先生方の御苦労に対し、感謝です。 ○郷土学から一人一研究へと学びを深めていかれているのは日吉っ子ならではの、これからも継続してほしいです。一人一研究も、発表後、夢産地や役場、公民館等で展示して地域の方やそれ以外の方にも見ていただき、意見を募るのはどうでしょうか。さらに深い学びにつながることを期待しています。 ○学校行事や一人一研究発表会などで、地域との関わりを通して豊かな心が育っていると感じている。 ○一人一研究では、地域の方の御協力や先生方が計画的に準備を進めてくださり、地域の文化が生かされた発表会でした。生徒たちが意欲的に取り組めていました。					学校の対応	○地域の温かさに支えられて、一人一研究や郷土学が行えている。今後も生徒だけでなく、教員も地域との関わりを感じられるような教育活動を進める。 ○学校行事や一人一研究の内容を、地域に広く啓発できるような方法を工夫する。 ○生徒一人一人が将来に向けて夢を持てるように、計画的にキャリア教育を進めていく。	

重点目標	評価指標				評価点	評価	評価	○成果　●課題及び改善策
健やかな体	7	⑦「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣化を図っている。	教師	「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が身に付くよう指導している。	3.57	A	B	○毎日の生活チェックで、生徒の就寝時間と起床時間、朝の健康観察で朝食の確認をしている。睡眠時間等気になる生徒には声を掛けるようにしている。 ●生徒には粘り強く指導を行っていきたい。 ●家庭でのことになるので、保護者の協力が不可欠になり、教員が指導しても難しい部分が大きいと思う。
			保護者	お子さんは、「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が身に付いている。	2.67	C		
			生徒	「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が身に付いている。	2.40	C		
	8	⑧体力や運動技能の向上への取組を実践している。	教師	しっかり運動することができるよう指導や助言ができています。	3.57	A	A	○得意・不得意や好き嫌いはあるが、部活動で個別に指導し、それぞれが一生懸命活動している。 ○全員運動部に入っていることもあり、運動量も十分確保できている。 ○部活動や全校体育で体力が向上してきていると感じる。
			保護者	部活動を通して、お子さんの体力や技能、個性が伸びてきている。	3.33	A		
			生徒	体育の授業や部活動に意欲的に取り組んでいる。	3.40	A		
	9	⑨自尊感情や自己肯定感を育てている。	教師	一人一人のよさを認め、個性を生かすようにしている。	3.86	A	A	○生徒一人一人に声を掛けるよう意識している。 ○生徒会活動で、生徒一人一人を褒めあう活動を行っており、良さに気付いたり認めあったりできるようにしている。 ●学級で、学期ごとにできるようになったことや自分の良さなどを書かせる活動を行う。
			保護者	お子さんのいいところを認めるようにしている。	3.44	A		
			生徒	自分にはよいところや強みがある。	3.00	B		
評価者 学校関係者意見	○毎日の生活チェックから見られることを確認し、個別指導されている。引き続き、個の生活環境に応じたアドバイス、意識付けをお願いします。 ○「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣化は、本来家庭の課題であり、家庭との連携なしでは成し得ない。保護者への働きかけを継続して行ってほしい。 ○「早寝・早起き・朝ご飯」で保護者・生徒の評価Cは悩ましいですね。勉強等で深夜まで起きていて、朝、時間が無くなって朝食を抜くのは学校生活に影響が出ることと思います。生徒たちには、バナナやおにぎりなど、何かは口に入れるように工夫したり、何故朝起きるのがつらく食べられないのかをじっくり自分に問いかける時間を作ったりしてほしい。 ○中学生ともなれば自分で朝食の準備もできると思うので、何かを食べて登校するよう指導してあげてほしい。					学校の対応	○折に触れて、学級での話合いや通信で呼びかけるなどして、早寝・早起き・朝ご飯の大切さを話題にし、意識付けする。 ○家庭と連携しながら、毎日の生活チェックを続け、引き続き粘り強く指導していく。 ○少人数の利点を生かして、生徒全員が活躍できる場を設定し、生徒の自己肯定感の向上に努める。	

重点目標	評価指標				評価点	評価	評価	○成果　●課題及び改善策
学校・家庭・地域の連携	10	⑩学校は教育活動についての情報を発信している。	教師	分かりやすく親しみやすい通信やＨＰ作りに努めている。	4.00	A	A	○生徒の活動や感想が伝わるような学級通信づくりに努めている。 ○校長先生の毎日のHPをはじめ、学級通信や学校通信を通して、学校の様子を発信することができている。 ・各学年ですでに実践されていることだとは思いますが、特に大事な情報や学級通信など生徒も読んでもらいたい情報は、終わりの会で読む時間を設ける。
			保護者	各種通信やホームページで教育活動に関する情報を読んでいる。	3.56	A		
			生徒	各種通信やホームページで教育活動に関する情報を読んでいる。	2.90	B		
	11	⑪行事等が適切に設定され、保護者が参加できている。	教師	行事の内容がよりよいものになるよう、工夫や提言をしている。	3.71	A	A	○気付いたことがあれば、管理職や周りの先生に相談することができている。 ○どの行事に対しても積極的に行動できる生徒が多く、保護者も多く見に来てくださっている。 ●平日の行事も保護者や地域の方が参加できそうなものは参加してもらってもいいと思う。
			保護者	学校の行事は、お子さんが意欲的に取り組める内容である。	3.44	A		
			生徒	学校の行事に意欲的に取り組んでいる。	3.40	A		
	12	⑫安心・安全な教育環境づくりに努めている。	教師	家庭や地域と連携し、安心・安全な教育環境を保持している。	4.00	A	A	○家庭との連絡をこまめに行っている。何かあったときだけでなく、良いこと等の連絡も行って良好な関係を築けるようにしている。 ○全体的に高い評価をつけてもらっている。保護者も生徒も、4の数字がつくように引き続き頑張っていきたい。
			保護者	安心してお子さんを送り出せる教育環境になっている。	3.56	A		
			生徒	家庭や地域、学校に支えられ、安心して学校生活を送っている。	3.50	A		
評価 学校関係者 委員意見	○ほとんどがA評価であり、学校・家庭・地域が良好な関係であることの表れである。今後も継続していけることを望んでいる。 ○学級通信は、学校・担任だけの一方的発信ではなく、通信を通して保護者の意見を発信できるコーナーがあれば、保護者どうしのつながりも深まります。通信を身近なものとして感じてもらえるような手段になればいいと思います。 ○我が家では、各種通信は読み終わったら壁に貼り付けていつでも目に付くようにしています。学校・家庭・地域の連携がよく取れていると感じています。					学校の対応	○学校運営協議会や保護者の声を生かしながら、更に学校・家庭・地域の連携を深め、特色ある学校づくりに努める。 ○避難訓練、安全点検の回数を増やすなど、安心・安全な環境の維持に努める。 ○学級通信の内容を充実させ、生徒や保護者に興味を持ってもらえるような内容になるよう努める。	